

かほだより

R8- 6号
R8. 7. 21

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL: 0265-72-2782
Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
所在地: 伊那市西町5764
伊那諏訪家畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

<酪農生産性向上対策事業>

令和8年度前期バルク乳細菌検査結果について

- 検査時期 令和8年5月、6月
- 検査戸数 49戸（上伊那35戸 諏訪14戸）
- 検査項目 生菌数、黄色ブドウ球菌(SA)、環境性レンサ球菌、大腸菌群、耐熱性菌、環境性ブドウ球菌、牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）遺伝子検査、マイコプラズマ

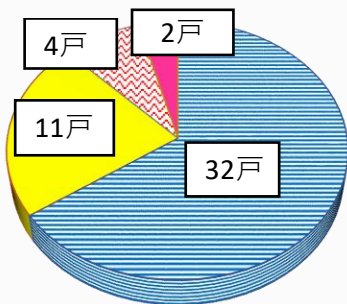
検査成績

搾乳衛生の指標

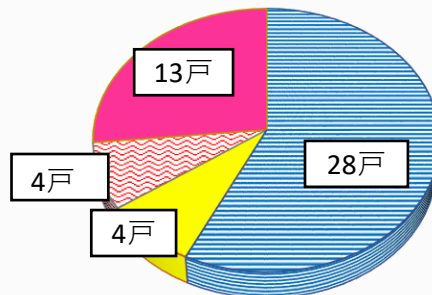
体細胞数を高める
伝染性乳房炎菌

搾乳衛生不良から
くる乳房炎菌

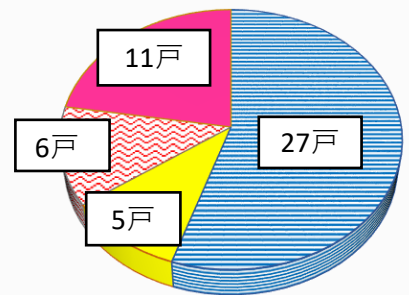
生菌数



黄色ブドウ球菌(SA)

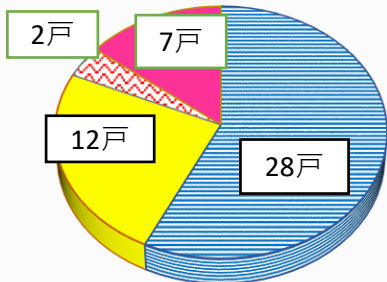


環境性レンサ球菌



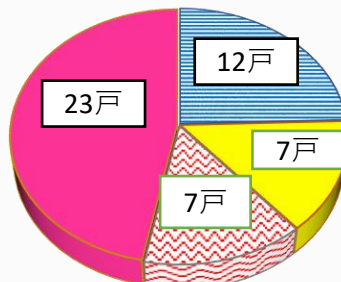
ふん便汚染（搾乳衛生不良）の指標

大腸菌群



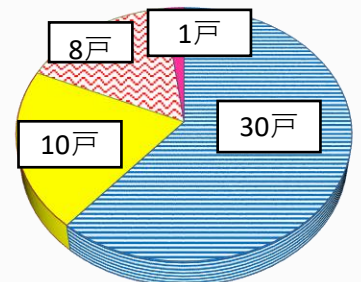
搾乳衛生不良から
くる乳房炎菌

環境性ブドウ球菌群



搾乳洗浄システムの指標

耐熱性菌



判定基準: 少ない (Blue) やや多い (Yellow) 多い (Red) 非常に多い (Pink)

※ 無乳性レンサ球菌、BVDV遺伝子検査及びマイコプラズマは全戸陰性でした。

黄色ブドウ球菌(SA)対策は、乳房炎対策の第一歩！！

SAは感染力が強く、難治性で潜在性乳房炎の主要な原因菌です。

非常に多い農家が昨年度は9戸（18%）でしたが、今年度は13戸（26%）と増加しています。

<主な対策>

- ・全頭検査を実施し感染牛（感染分房）を特定しましょう
- ・感染牛は最後に搾乳し、ポストディッピングを徹底して他牛への感染を防ぎましょう。
- ・感染分房の盲乳処置、乾乳期治療、難治性牛の淘汰を検討しましょう

バルクタンクの“輝き”はその農場の管理力を映し出す！？

乳房炎の少ない農場や乳質の良い農場では、バルクタンク室や搾乳設備周辺が清潔に保たれ、整理整頓が行き届いていることが少なくありません。

英国の調査では、牛体の清潔度が高い農場ほどバルク乳体細胞数が低く、汚れの多い農場では乳房炎原因菌が検出される傾向が報告されています。

もちろん、バルクタンクにホコリがあること自体が乳房炎を引き起こすわけではありません。しかし、**ポジティブ巡回**などでも、タンク周辺の清掃や整理整頓が徹底されている農場では、搾乳衛生や牛群観察、記録管理なども丁寧に実施されていることが多く、農場全体の管理水準を反映する一つの指標と考えられます。

あらためて、自農場のバルクタンク周辺を見渡してみましょう。その環境が、良質乳生産への取り組みを映し出しているかもしれません。



PI 牛をつくらない、持ち込まない。そのための BVD ワクチン対策

牛ウイルス性下痢(BVD)は、発熱や下痢、流産・異常産などを引き起こす届出伝染病です。

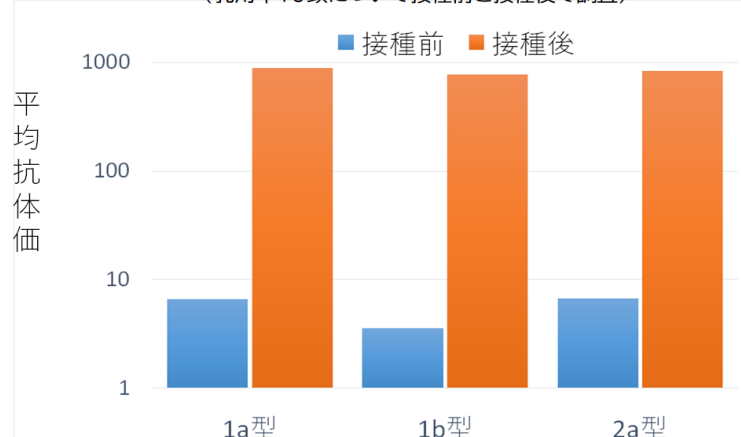
特に妊娠初期の母牛が感染すると、胎子が**持続感染(PI)牛**として生まれ、生涯にわたりウイルスを排泄するため、牛群内の感染拡大や生産性低下の原因となります。このため、PI 牛の摘発・淘汰に加え、ワクチン接種による予防が重要です。

新たな BVD 生ワクチン「ボベラ」は、年 1 回の接種で胎子への感染防止が期待されるほか、妊娠牛を含む 3 か月齢以上の牛に使用できます。欧州では、本ワクチンを含む総合的な BVD 対策により、疾病の低減と清浄化に向けた取組が進められています。

伊那家畜保健衛生所が本ワクチンを接種した乳用牛 10 頭を調査したところ、接種後に BVD ウイルスの主な3つの遺伝子型(1a型、1b型及び2a 型)抗体価の有意な上昇が認められ、免疫付与効果が確認されました。

伊那諏訪家畜畜産物衛生指導協会では本ワクチンの活用を推進していますので、接種を希望される場合はご相談ください。

新しい牛ウイルス性下痢(BVD)ワクチンの接種前後の抗体価
(乳用牛10頭について接種前と接種後で調査)



新しいBVDワクチンのメリット



疾病の予防
BVDの感染や
発症を防ぎます



生産性の向上
胎子感染を防ぎ
生産性を守ります



牛群の健康を守る
牛群の健康と清浄
性を維持します